

AI問診ソリューション HOPE 今日の問診票 With Current Decision Support



AI問診と電子カルテが連携し、診療現場の業務効率化を実現

AI問診と電子カルテが連携し、問診入力時の患者取り違え予防や問診業務の効率化など、新たな医療現場を実現します。

【特長・メリット】

AI問診と電子教科書による業務効率化

- AI問診による問診結果から症状や所見、鑑別診断、治療方法などの**電子教科書※1を1画面で表示**し、初診カルテ作成の工数が削減、診察効率化と質向上をサポートします。
※1 Current Decision Support : プレジジョン社が提供する電子教科書2,000名の著名医師が監修や編集更新に携わった、3,000疾患/700病状の所見/全処方薬の情報を掲載している診療マニュアル
- 医療電子辞典では**著名医師2,000名**による定期更新で常に最新情報をお届けします。
- ユーザ様の環境に合わせ、**オンプレミスでの稼働**や、**柔軟なカスタマイズ**を実現します。

電子カルテとの連携

- 【患者属性連携】
プレジジョン社 問診票入力時に氏名/性別/年齢をカルテから連携し、**患者の取り違えを予防**します。
- 【ナビゲーションマップ連携】
電子カルテシステム上から**すぐに問診結果を起動**することで問診結果と電子教科書を参照可能に。初診カルテの下書きを電子カルテにコピーすることで、さらなるカルテ作成の負荷を実現します。

関連プレスリリース記事 「電子カルテシステムとAI診療支援を連携させた実証実験を開始」

患者が院内タブレットで入力した問診内容をもとに、AIがコロナ禍における医師の診療を支援



協業事例インタビュー

富士通アクセラレータープログラムでの共創の取り組みを、座談会形式でご紹介します。今回は、2021年6月11日に開催された富士通アクセラレーター第9期 DemoDayのイベント参加者アンケートにおいて、「関心のあるスタートアップ」として最も多くの票を獲得した「株式会社プレジジョン」さんです。



プレジジョン社ホームページ



公開サイト

富士通が提供する「新しい患者体験」についてはこちらから >>



お問い合わせ先

富士通Japan株式会社
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 (JR川崎タワー)

● 本製品は医療機器ではありません。

